

## 県営ため池等整備事業小野池地区堤体補強工事における 工事請負契約の変更について

### 1 要旨・目的

令和6年5月13日付で契約締結した「県営ため池等整備事業小野池地区堤体補強工事」について、請負金額の変更を行う。

### 2 現状・背景

当該ため池は、診断の結果、現況の堤体では地震時の安全性を満足しないことが判明したため、ため池貯水池内の堆積土（泥土）を改良した材料で盛土による補強工事を行い、地震時の安全性を確保する。

工事実施時に行う各種試験の結果に伴い、堆積土を改良するための固化材添加量や、地盤改良する土量の増加等により、請負金額が増額するものである。

### 3 概要

#### (1) 対象者（請負者）

シンクコンストラクション株式会社

#### (2) 事業内容（工事概要）

ア 工事名：県営ため池等整備事業小野池地区堤体補強工事

イ 工事場所：東広島市志和町

ウ 工事内容：堤体補強工事 1式

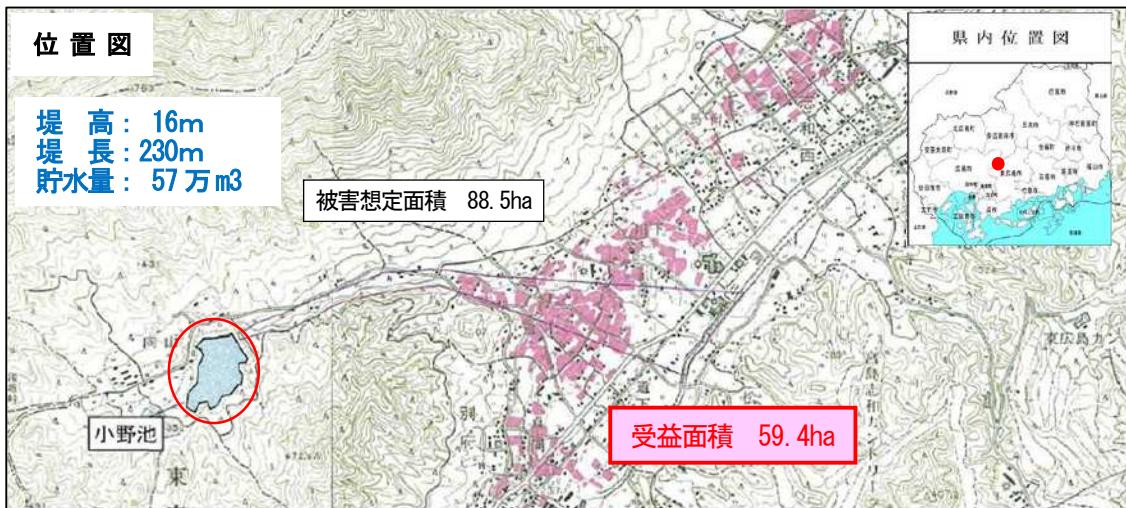
エ 請負金額：当初 447,700,000円（税込）

変更 653,530,900円（税込） (増額 205,830,900円)

【主な増減内訳】

・堤体盛土工の固化材添加量の増	70百万円
・地盤改良工の固化材添加量及び改良土量の増など	135百万円

オ 工期：令和6年7月15日から令和8年11月10日



#### (3) スケジュール

令和8年2月定例会で請負契約の変更議案を提案するため、令和7年12月12日に仮契約を行っており、議会承認後に本契約を行う見込み。

#### (4) 予算（補助事業）

上記のとおり

#### 4 その他（主な変更内容）

当初契約では、固化材の添加量や地盤改良深さ等について、当該ため池が大規模で、完全落水すると営農開始までに水量の回復が難しいことから、基準書等から標準的な配合量としていたが、工事着手（落水）後の詳細な土質試験の結果、大幅に添加量や改良土量の増加が必要となった。

##### ○ 堤体盛土工（固化材添加量の増）

現地試料で土質試験を行った結果、固化材添加量が変更となる。

	変更前	変更後
添加量	50 kg/m <sup>3</sup>	155 kg/m <sup>3</sup>
施工単価	5,206 円/m <sup>3</sup>	7,185 円/m <sup>3</sup>

##### ○ 地盤改良工（固化材添加量及び改良土量の増）

現地試料で土質試験を行った結果、固化材添加量が変更となる。

また、地盤の固さを調べる貫入試験を行った結果、地盤改良が必要な地表面からの深さが当初想定（3.2m）よりも深い位置（4.6m）となり、改良土量が増加する。

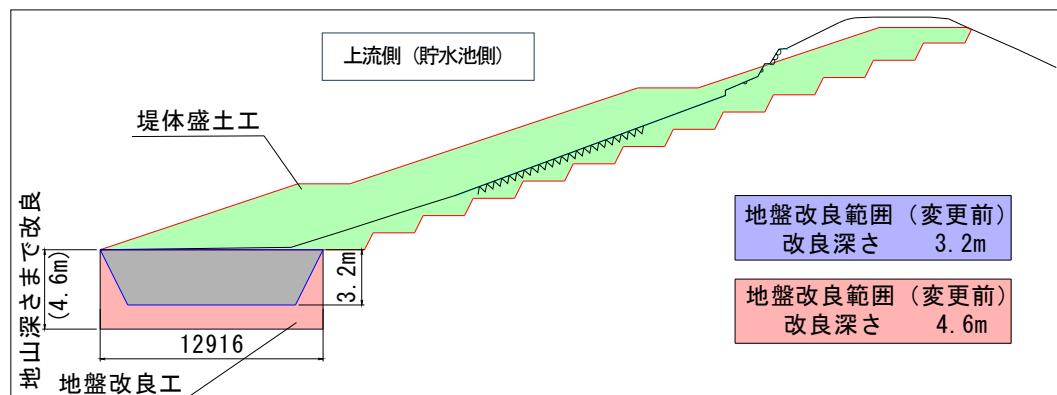
##### 【固化材添加量】

	変更前	変更後
添加量	50 kg/m <sup>3</sup>	200 kg/m <sup>3</sup>
施工単価	3,582 円/m <sup>3</sup>	6,727 円/m <sup>3</sup>

##### 【改良土量】

	変更前	変更後
改良土量	8,570m <sup>3</sup>	13,720m <sup>3</sup>

##### 【横断図】



##### 【施工状況】

